

公表

第 64 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の仕様および実施要領記載の職種限定規則に従って、課題を製作しなさい。

はじめに

技術概要に準拠するため、左官職種競技はモジュール化されており、3つのモジュールが含まれています。各モジュールは個別に評価されるため、各モジュール終了時には完全に作業終了した状態にしてください。各モジュールは個別に評価するため、あるモジュールでミスがあった場合でも、他のモジュールの評価には影響しません。

- ・ 第 64 回競技課題では、一部の寸法を競技 1 日目に変更いたします。
- ・ 各部の位置を示す非公表寸法は、競技 1 日目の課題説明の際、実施図面を配布する形で公表します。
- ・ 原則として、受付時間内（競技 1 日目・2 日目とも）に競技選手本人が受付を行うことができなかった場合は、採点対象外とすることがあります。

1. 競技時間

標準時間 9 時間 30 分 ※休息时间含まれず

- ・ モジュール 1 = 6 時間 30 分 （打切時間 6 時間 40 分）
- ・ モジュール 2 = 40 分
- ・ モジュール 3 = 2 時間 20 分（打切時間 2 時間 30 分）

2. 仕様（モジュール別、作業内容および指示事項）

別紙 1・2 のとおり

仕様（モジュール別、作業内容と説明）

モジュール1

施工日：1日目「12月5日（土）」

施工時間：6時間30分（8:50～12:00）（13:00～16:40）

（午前・午後に、それぞれ10分間の休息時間を取る。）

作業内容：・各種墨出し

- ・ふかし壁の軽量鉄骨加工・組み立て、ラスボード加工・取付け
- ・モールディングA引き型鉄板加工、モールディングA・B製作（石膏置引き）
- ・モールディングA・B（腰見切り部）の切断・加工・取付け・補修
- ・ふかし壁のコーナー一定木取付け
- ・腰壁の目地取付け
- ・Bドライ中塗り
- ・パテ仕上げ

作業説明：・中心墨、陸墨は各自で出す。陸墨は課題中心部の床から1,000mm上がりの位置を基準とする。

- ・ふかし壁製作に必要な墨（軽量鉄骨取付け墨、中塗り墨）、モールディングA・B（腰見切り部）の取付け墨は、中心墨、陸墨から追い出す。
- ・モールディングA（外周部）の接合部の取付け墨を出す。
- ・ふかし壁は、軽量鉄骨（ランナー・スタッド）を組み立て、正面および小口面にラスボードを取付ける。なお、ラスボードを止めるビスの間隔は、200mm以内とする。
- ・モールディングAの引き型は、方眼紙と鉄板を用いて製作後、持参した木型に取付けて完成させる。Bの引き型は、完成したものを持参してよい。
- ・モールディングA・Bは、焼石膏を用いて置引きで製作する。
- ・置引きの下地に使用する支給材の発泡スチロール(1,820×910×10)が必要な場合は使用してもよい（持ち込み不可）。
- ・仕上がったモールディングA・B（腰見切り部）は、切断加工して取付け、接合部および切断小口を補修する。また、モールディングと壁との間は、正面および側面ともに、すき間のないように仕上げる。ただし、モールディングA外周部上部の側面にある直線部のすき間は、仕上げなくてもよい。
- ・ラスボードのジョイント部、入隅部および出隅部には、持参したジョイントテープを貼る。
- ・腰壁の左側と右側の見切りとして、目地を取付ける。
- ・中塗りは、左上壁（自由課題部を含む）、腰壁右側、ふかし壁およびふかし壁くぼみ部に行い、下こすりを含めて2回塗りを基準とする。その際、ムラのないように丁寧に塗り付け、金鏝で押さえ、平らに仕上げる。
- ・ふかし壁およびふかし壁くぼみ部の出角は、コーナー一定木を中塗り墨に合わせて固定し、中塗りを行う。
- ・腰壁左側は、下こすりを行った後、刷毛引きを行う。
- ・パテ部は、パテ材を塗り付けた後に、サンドペーパーをかけて平らに仕上げる。
- ・置引きの引き型は、1日目の作業終了後、すべて提出する。

モジュール2

本モジュールは、スピード競技となる。

施工日：2日目「12月6日（日）」

施工時間：40分（8:50～9:30）

作業内容：・モールディングB(額縁)の切断・加工・取付け・補修
・腰壁（右側）の仕上げ

作業説明：・モールディング取付け墨を出す。
・モールディングB（額縁）は、切断加工して取付け墨に合わせて取付け、接合部を補修する。
また、モールディングと壁との間は、すき間のないように仕上げる。
・腰壁（右側）は、上塗り材を均一に塗り付け、鏝むらのないように金鏝で仕上げる。

モジュール3

施工日：2日目「12月6日（日）」

施工時間：2時間20分（9:40～12:00）

作業内容：・左上壁、腰壁（左側）、ふかし壁、ふかし壁くぼみ部の仕上げ
・自由課題仕上げ

作業説明：・左上壁は、上塗り前にエチレン酢酸ビニル系の吸水調整材を希釈して塗布し、上塗り材を2回塗りして、なで切り仕上げとする。
・ふかし壁は、上塗り材を2回塗りして、パターン仕上げとする。なおパターンは自由とする。
・ふかし壁くぼみ部は、上塗り材を2回塗りして、磨き仕上げとする。
・腰壁（左側）は、ちり塗りの墨出しおよび水しめしを行った後、ちり鏝を使用してちり塗り材を下こすりし、墨に合わせて塗り幅を揃え、2回塗りとする。上塗りは、水しめしを行った後、上塗り材を2回塗りして、切り返し仕上げとする。
・モールディングB（額縁）の内側は自由課題とし、左官材料で仕上げる。自由課題に使用する材料は各自持参とする。ただし、あらかじめ製作・成形したものの持ち込みは認めない。